

■相手はどんな気持ち？

【ねらいとする能力】

・他者への気づき ・対人関係

目的

「相手の気持ちを知るヒント」を知り、それらを家庭内で使えるようにする。

○準備物

・気持ちカード

○ワークショップ概略

(1) 「相手の気持ちを知るヒント」を知る。

*相手の気持ちを知るヒント…「①しぐさ、②顔の表情、③声の大きさ、④周りの様子」

(2) 「相手の気持ちを知るヒント」を使って、相手の気持ちを推測するゲームをする。

(3) 振り返りをして、感想や気づきを話し合う。

○ワークショップの流れ

場面	教師の指示(★)と保護者の反応・行動(△)	留意点
導入	(場合によっては、事前に雰囲気作りをする。) ★ 今日は「相手の気持ちを知るヒント」を学習しました。みなさんは子どもの気持ちを読み取れていると思いますか？ △ 読み取れている/あまり読み取れていない。	
活動	★ では、どんなときに「今日は様子が変わった」と思うのでしょうか？グループで話し合ってください。 △ [グループで話し合い、発表。]いつもより小さい声になる/顔が緊張している。 ★ みなさんはお子さんの普段の様子を知っているので、自然とその違いに気づくことができます。ペットを飼っている人の中には、ペットの機嫌まで分かる場合もあります。しかし、子ども同士の場合はうまくいくとは限りません。それはまだ相手の気持ちを知る経験が少ないためです。そこで、どんなところを見たら相手の気持ちがわかるのかというヒントを学習しました。そのヒントは『“シカ”の“こま”』でした。確認します。 *相手の気持ちを知るヒント…『気持ちを知るヒントは、“シカ”の“こま”』 ①しぐさ、②顔(かお)の表情、③声(こえ)の大きさ、④周(まわ)りの様子 ★ では、授業でもやりましたが、気持ちを当てるゲームをしましょう。まず、6人グループになってもらいます。ゲームは、気持ちカードを使います。出題者(一人)がカードの中から一枚カードを引き、その気持ちを演じます。出題者以外の人は、出題者がどんな気持ちなのか考えて、これだと思う気持ちのカードをあげてください。一度、私がやってみます。(モデリング) △ ゲームを始める。(全員が数回ずつ出題する。) ★ ゲームをしてみて何か感想はありますか？ △ 顔の表情だけで気持ちを理解するのは難しかった/表現するのが恥ずかしかった。	時間がないなど状況によっては、気持ちを当てるゲームをしないことも考えられる。
まとめ	★ クラスの中には表情やしぐさ、周りの様子から相手の気持ちを理解することが苦手な子どもがいます。みなさんのお子さんは相手の表情やしぐさを見ているのでしょうか。また、家族の間ではどうでしょうか。家庭内でも互いの気持ちがよくわかるように、「相手の気持ちを知るヒント」を思い出してください。	

ワークショップをするにあたって

気持ちを当てるゲームは、保護者の雰囲気に応じて実施の有無を検討する。